



子どもたちにとって、何かを成し遂げた夏になったでしょうか。

「失敗を恐れずに、とりあえずチャレンジを。新学期(9/1)をゴールと見立て、自分がこの夏休みに何を成し遂げたいのか考えよう。」と一学期終業式で、生徒に向けて話しました。さて、生徒それぞれどんな収穫があったのでしょうか。私が知っているだけでも、さのさ祭り、潮風園でのワークショップ、アドベンチャーin甕島、保育実習、ジュニアリーダー研修会、夏トライグレードアップゼミ、イングリッシュキャンプ、ビブリオバトル、インターハイ、全国総文祭、アルバイト等……生徒たちの多くが、外に飛び出して日頃は体験できないことにチャレンジしたようです。

自己肯定感とは「自分は大切な一人だ」、「今の自分が自分の全てではない、つまり学ぶことを通して成長するのだ」、「目の前の世界が世界の全てではない、少し動けば世界は変わる」という感情のことであり、何らかの「体験」を通してそのような実感を得ることができます。

そして、その体験を振り返る(記録する)ことによって、こうありたい自分と今の自分とを比較できます。その比較を通して、自分の今後の課題が見えてくる。成長のきっかけとなるのです。

(こうありたい自分) - (今の自分) = (自分の今後の課題) なのです。

また、**自己肯定感をさらに高めるには**、「自分には何ができるのだろうか」「何かの役に立っているのだろうか」「自分はここにいていいのだろうか」と、本人に気づかせたり、支えたりするための**周りの人の「評価」が必要**です。学校ではもちろんのこと、ご家庭においても、子ども個々のよさや可能性を認識させるような言葉かけが大切だと思います(私自身、今となっては……そういうことを我が子には十分にやらなかったと……反省です)。

昨日で夏季課外が終わりました。

今年の課外では、1・2年生には「探究」の時間を設定しました。1年生は、求人票、進路情報誌、PC等を使いながらの進路探究。現段階で調べ方が分かればよいのです。自分の可能性を信じ、日々の学習体験を大切にすることです。自分を過小評価して、安易に進路を絞り込もうとするのは避けてほしいと思います。

2年生は、串木野学が進行中。前期課外でのみらいラボの助言を生かしてほしいところですが、グループによって進み具合の差が見られるような……。停滞状況から抜け出すには、失敗することを考えずに、とりあえずはトライ&エラー。無為からは何も出てきません。

さて、3年生ですが、各自の進路実現に向けて突き進むのみです。就職希望者は、いよいよ応募書類を発送する時期になりました。



インスタ、FBもご覧ください。串木野高校、頑張っています！（文責 立森）